



日本共産党
大石ふみき



高校生世代のこども福祉医療費の現物給付

問 高校生世代のこども福祉医療費は償還払いでの支給であることから、申請手続が市民の負担となっている。令和8年度の制度見直しにあたり、県が現物給付を実施しなかった場合、市が単独で現物給付を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

答 市独自でこども福祉医療費の現物給付を実施した場合、約8,000万円の増額が見込まれるため、こども・子育て施策全体の中での判断が必要であると考ええる。県においては、令和8年度からの支給方法や県補助の在り方について、今年度中に明示するとしており、県知事から「現行の償還払い方式は手続が煩雑であり、県民にとって利便性の高い制度が望ましい」という発言も頂いている。本市としても、引き続き県に対して現物給付化の実現を強く要請していく。



公明党
山本 信幸



公共施設エレベーター維持管理への専門業者導入

問 公共施設エレベーターの維持管理を一括して専門業者へ委託することで、コスト削減及び統一的な維持管理体制による効率的な管理とリスク低減が見込まれると思うが、市の見解を伺いたい。

答 公共施設における一括した維持管理の実施は事務の効率化や安全性の向上、コスト削減等も見込まれ、有効な手段であると考えており、現在は、学校施設の包括施設管理業務委託や、ふれあいセンターなど一部の施設において、エレベーターの保守点検業務の一括発注を行っている。その効果を踏まえ、エレベーターの維持管理に係る専門業者への一括管理の導入については、現在の各公共施設のエレベーターの管理状況の整理や費用対効果の分析を行うとともに、他都市の導入事例も参考にしながら、本市の実情に応じた維持管理体制の構築に向けて研究を進めたい。



自民創生
梅元 建治



人口減少下における若者の定着

問 若者の定着は本市の重要な課題である。市は、若者の声を聞く場である「ながさき若者会議」の今後の方向性をどのように考えているのか。また、若者が定着するための政策をパッケージ化して市民に分かりやすく提示する考えはないか。

答 本市では、若い世代に選ばれる魅力的なまちを目指すべき姿として掲げ、若い世代を意識した取組を進めている。若者が学び、チャレンジできる場として立ち上げた「ながさき若者会議」については、現在、メンバーと今後の方向性の協議を続けており、これからも若者の声に耳を傾け、伴走しながら、より良い学びと挑戦の場になるよう努める。また、政策をパッケージで見せていくことについては、少子化対策やシティプロモーションなどで行っており、引き続き効果的な見せ方を意識して取り組んでいく。



自民創生
浅田 真五



国旗掲揚に対する本市の考え方

問 9月12日に天皇皇后両陛下並びに敬宮愛子内親王殿下が平和公園を訪問された際、公園に国旗が掲揚されたとおらず大変残念に思った。また、平和祈念式典でも国旗の掲揚がないが、本市の国旗掲揚に対する考え方を伺いたい。

答 市庁舎や地域センター等の掲揚台のある施設では、原則、平日と祝日に国旗を掲揚するようにしている。イベント等では、開催趣旨や目的、主催者の要請等を勘案して掲揚の判断を行っている。国旗は国民のアイデンティティーの証として重要な役割を果たすものと認識しているが、国旗掲揚については、引き続き各種行事の趣旨や施設の目的などを勘案し判断していく。なお、平和祈念式典での国旗掲揚をこれまで検討した記録は残っていない。原爆犠牲者の慰霊と世界恒久平和への祈念という目的を達成できるよう、式典を実施していく。